

1 研修テーマ 「子どもが意欲的に取り組む表現活動」

2 研修の概要

- 4月 第1回部会 活動計画 ・研修内容の決定 ・授業者の決定
- 6月 第2回部会 万代島美術館での学芸員の解説を聞きながらの研修
- 10月 第3回部会 授業研究
 - ・授業者 新発田市立猿橋小学校 遠山 実代子 先生
 - ・指導者 新発田市立藤塚小学校校長 長谷川 重雄 様

3 研修の実際

(1) 第2回 美術館での研修

学芸員の解説を聞きながら現代美術作品「国立国際美術コレクション 美術の冒険」を鑑賞した。作品の魅力や鑑賞の楽しみ方、美術史や作品の背景、作家の半生などを知る貴重な機会となった。鑑賞指導の参考になることが多く、充実した研修だった。

(2) 第3回 授業研究 3学年「ひみつきちをつくろう」

① 本時のねらい

“ひみつきち”をつくる活動を楽しむ。

② 主な展開の構想

研修テーマ「子どもが意欲的に取り組む表現活動」を受けて、以下の手だてがなされた。

- 活動意欲を高める題材の設定
- 共同で取り組むことで得られる達成感
- 集中して造形活動に取り組むための材料の限定

③ 指導の実際

前時までで新聞紙で芯材をつくり、一人の友達を芯材で囲む活動をしてきていた。本時は、みんなで(4, 5人)入れる“ひみつきち”をつくる授業であった。上記の手だてにより、試行錯誤しながらも意欲的に活動する姿が見られた。自分の“ひみつきち”や友だちの“ひみつきち”の中に入って、満足感に浸っている児童の姿が見られた。



4 成果 (○) と課題 (●)

- 「子どもの実態に合わせた題材」を開発し実践した。事前授業を行ったことで、より一層子どもの視点に合わせた授業を展開することができた。また、材料を限定したことが、子どもの集中力を持続させ工夫を促すことにつながった。
- 4, 5人のグループは多すぎたことと発問が曖昧だったため、“ひみつきち”が大きくなり過ぎてしまい、前時までの工夫を生かすことができなかったグループがあった。グループ活動の際の人数制限や教師の発問は、熟考する必要がある。

